

アセットバック証券オープン (毎月分配型) Cコース/Dコース

運用報告書(全体版)

第187期 (決算日2017年10月5日) 第188期 (決算日2017年11月6日) 第189期 (決算日2017年12月5日)
第190期 (決算日2018年1月5日) 第191期 (決算日2018年2月5日) 第192期 (決算日2018年3月5日)

作成対象期間 (2017年9月6日～2018年3月5日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Cコース	Dコース
商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	2002年3月1日以降、無期限とします。	
運用方針	運用にあたっては、アセットバック証券の独特なリターン特性やリスク特性の分析に基づき、主要な3つのセクター（MBS(Mortgage Backed Securities)、CMBS(Commercial Mortgage Backed Securities)、ABS(Asset Backed Securities)）への資産配分、個別投資銘柄選定、デュレーションマネージメントを行い、アクティブに運用することを基本とします。 実質組入外貨建て資産については、原則として米国ドルを用いて為替ヘッジを行います。	
主な投資対象	アセットバック証券オープンCコース/Dコース	アセットバック証券オープンマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 米国ドル建てのMBS、CMBS、ABSなどの証券、およびこれらを担保として発行される証券を主要投資対象とします。なお、一部米国国債、米国政府機関の発行した債券および米国ドル建て以外のアセットバック証券に投資する場合があります。
主な投資制限	アセットバック証券オープンCコース/Dコース	外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。株式への投資は新株予約権付社債（転換社債）を転換したものに限り、株式への実質投資割合は信託財産の純資産総額の10%未満とします。
分配方針	アセットバック証券オープンマザーファンド 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。 毎決算時に、原則として利子・配当収入等を中心に安定分配を行います。ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合があります。留保益の運用については、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104
〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<Cコース>

○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	準 価 額			参 考	指 数		債 券 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 込 分 配	み 金 期 騰	落 中 率		期 騰 落 率	中 率			
	円	円	%		%	%		%	百万円	
163期(2015年10月5日)	9,412	20	1.0	145.64	1.0	93.6	—	678		
164期(2015年11月5日)	9,311	20	△0.9	143.37	△1.6	93.6	—	665		
165期(2015年12月7日)	9,247	20	△0.5	142.94	△0.3	94.7	—	656		
166期(2016年1月5日)	9,192	20	△0.4	142.92	△0.0	93.0	—	649		
167期(2016年2月5日)	9,327	20	1.7	146.35	2.4	93.5	—	652		
168期(2016年3月7日)	9,308	20	0.0	145.33	△0.7	95.1	—	638		
169期(2016年4月5日)	9,375	20	0.9	146.59	0.9	93.9	—	643		
170期(2016年5月6日)	9,390	20	0.4	146.73	0.1	94.2	—	610		
171期(2016年6月6日)	9,363	20	△0.1	146.57	△0.1	94.1	—	607		
172期(2016年7月5日)	9,432	10	0.8	148.27	1.2	95.0	—	611		
173期(2016年8月5日)	9,420	10	△0.0	148.09	△0.1	94.3	—	606		
174期(2016年9月5日)	9,373	10	△0.4	146.88	△0.8	98.2	—	588		
175期(2016年10月5日)	9,336	10	△0.3	146.63	△0.2	98.6	—	574		
176期(2016年11月7日)	9,314	10	△0.1	146.39	△0.2	96.9	—	574		
177期(2016年12月5日)	9,068	10	△2.5	142.17	△2.9	99.3	—	557		
178期(2017年1月5日)	9,014	10	△0.5	141.36	△0.6	97.6	—	553		
179期(2017年2月6日)	8,990	10	△0.2	141.32	△0.0	95.3	—	550		
180期(2017年3月6日)	8,957	10	△0.3	140.79	△0.4	96.2	—	541		
181期(2017年4月5日)	8,993	10	0.5	141.86	0.8	96.0	—	542		
182期(2017年5月8日)	8,991	10	0.1	141.89	0.0	98.3	—	526		
183期(2017年6月5日)	9,053	10	0.8	143.09	0.8	96.2	—	525		
184期(2017年7月5日)	8,954	10	△1.0	141.74	△0.9	99.7	—	512		
185期(2017年8月7日)	8,987	10	0.5	142.46	0.5	96.0	—	508		
186期(2017年9月5日)	9,026	10	0.5	143.04	0.4	96.2	—	508		
187期(2017年10月5日)	8,935	10	△0.9	141.77	△0.9	99.6	—	495		
188期(2017年11月6日)	8,925	10	0.0	141.26	△0.4	99.9	—	494		
189期(2017年12月5日)	8,860	10	△0.6	140.42	△0.6	97.8	—	488		
190期(2018年1月5日)	8,821	10	△0.3	139.71	△0.5	96.7	—	486		
191期(2018年2月5日)	8,676	10	△1.5	137.57	△1.5	94.8	—	478		
192期(2018年3月5日)	8,648	10	△0.2	137.45	△0.1	94.9	—	452		

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 債券組入比率の中には売付債券（TBA取引）の比率は含まれておりません。

* 参考指数（=ICE・BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス*（円ヘッジベース））は、ICE・BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（現地通貨ベース）をもとに、当社において円ヘッジおよび円換算したものです。

* 名称変更しております（旧名称はBofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス）。

（出所および許可）ICE Data Indices, LLC、（出所）ブルームバーグ

<Cコース>

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準	価 額		参 考	指 数		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
			騰 落 率			騰 落 率			
第187期	(期 首) 2017年9月5日	円 9,026	% —		143.04	% —	% 96.2	% —	
	9月末	8,957	△0.8		142.01	△0.7	99.9	—	
	(期 末) 2017年10月5日	8,945	△0.9		141.77	△0.9	99.6	—	
第188期	(期 首) 2017年10月5日	8,935	—		141.77	—	99.6	—	
	10月末	8,930	△0.1		141.30	△0.3	97.6	—	
	(期 末) 2017年11月6日	8,935	0.0		141.26	△0.4	99.9	—	
第189期	(期 首) 2017年11月6日	8,925	—		141.26	—	99.9	—	
	11月末	8,887	△0.4		140.76	△0.4	97.7	—	
	(期 末) 2017年12月5日	8,870	△0.6		140.42	△0.6	97.8	—	
第190期	(期 首) 2017年12月5日	8,860	—		140.42	—	97.8	—	
	12月末	8,842	△0.2		140.02	△0.3	96.8	—	
	(期 末) 2018年1月5日	8,831	△0.3		139.71	△0.5	96.7	—	
第191期	(期 首) 2018年1月5日	8,821	—		139.71	—	96.7	—	
	1月末	8,733	△1.0		138.16	△1.1	92.7	—	
	(期 末) 2018年2月5日	8,686	△1.5		137.57	△1.5	94.8	—	
第192期	(期 首) 2018年2月5日	8,676	—		137.57	—	94.8	—	
	2月末	8,635	△0.5		137.18	△0.3	96.0	—	
	(期 末) 2018年3月5日	8,658	△0.2		137.45	△0.1	94.9	—	

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 債券組入比率の中には売付債券（TBA取引）の比率は含まれておりません。

<Dコース>

○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	準 価 額			参 考	指 数		債 券 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 込 分 配	み 金 期 騰 落	中 率		期 騰 落	中 率			
	円	円	%		%	%	%	%	百万円	
163期(2015年10月5日)	8,870	15	1.8	164.19	1.9	94.1	—	1,403		
164期(2015年11月5日)	8,888	15	0.4	163.72	△0.3	92.2	—	1,402		
165期(2015年12月7日)	8,959	15	1.0	165.63	1.2	92.3	—	1,379		
166期(2016年1月5日)	8,639	15	△3.4	160.39	△3.2	94.1	—	1,301		
167期(2016年2月5日)	8,618	15	△0.1	161.26	0.5	94.4	—	1,300		
168期(2016年3月7日)	8,378	15	△2.6	155.74	△3.4	95.6	—	1,249		
169期(2016年4月5日)	8,257	15	△1.3	153.48	△1.4	95.4	—	1,227		
170期(2016年5月6日)	8,013	15	△2.8	148.80	△3.1	96.6	—	1,185		
171期(2016年6月6日)	7,938	15	△0.7	147.59	△0.8	96.6	—	1,160		
172期(2016年7月5日)	7,700	15	△2.8	143.62	△2.7	95.9	—	1,125		
173期(2016年8月5日)	7,606	15	△1.0	142.04	△1.1	95.8	—	1,106		
174期(2016年9月5日)	7,761	15	2.2	144.75	1.9	96.9	—	1,122		
175期(2016年10月5日)	7,653	15	△1.2	143.09	△1.1	97.2	—	1,102		
176期(2016年11月7日)	7,724	15	1.1	144.73	1.1	96.0	—	1,106		
177期(2016年12月5日)	8,221	15	6.6	154.05	6.4	96.9	—	1,168		
178期(2017年1月5日)	8,376	15	2.1	157.24	2.1	96.3	—	1,175		
179期(2017年2月6日)	8,074	15	△3.4	151.99	△3.3	96.8	—	1,128		
180期(2017年3月6日)	8,142	15	1.0	153.45	1.0	96.7	—	1,135		
181期(2017年4月5日)	7,975	15	△1.9	150.69	△1.8	96.5	—	1,104		
182期(2017年5月8日)	8,116	15	2.0	153.57	1.9	96.6	—	1,122		
183期(2017年6月5日)	8,016	15	△1.0	151.93	△1.1	96.4	—	1,101		
184期(2017年7月5日)	8,114	15	1.4	154.24	1.5	97.3	—	1,110		
185期(2017年8月7日)	7,979	15	△1.5	151.98	△1.5	96.7	—	1,039		
186期(2017年9月5日)	7,948	15	△0.2	151.38	△0.4	96.4	—	1,033		
187期(2017年10月5日)	8,090	15	2.0	154.58	2.1	96.7	—	1,045		
188期(2017年11月6日)	8,196	15	1.5	156.42	1.2	96.9	—	1,011		
189期(2017年12月5日)	8,010	15	△2.1	153.10	△2.1	96.5	—	987		
190期(2018年1月5日)	8,011	15	0.2	153.10	△0.0	96.6	—	968		
191期(2018年2月5日)	7,681	15	△3.9	147.11	△3.9	95.8	—	901		
192期(2018年3月5日)	7,364	15	△3.9	141.40	△3.9	96.7	—	823		

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 債券組入比率の中には売付債券（TBA取引）の比率は含まれておりません。

* 参考指数（=ICE・BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス*（円換算ベース））は、ICE・BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（現地通貨ベース）をもとに、当社において円換算したものです。

* 名称変更しております（旧名称はBofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス）。

（出所および許可）ICE Data Indices, LLC、（出所）ブルームバーグ

<Dコース>

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準	価 額		参 考	指 数		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
			騰 落 率			騰 落 率			
第187期	(期 首) 2017年9月5日	円 7,948	% —	151.38	% —	96.4	% —		
	9月末	8,106	2.0	154.68	2.2	97.0	—		
	(期 末) 2017年10月5日	8,105	2.0	154.58	2.1	96.7	—		
第188期	(期 首) 2017年10月5日	8,090	—	154.58	—	96.7	—		
	10月末	8,121	0.4	154.77	0.1	95.7	—		
	(期 末) 2017年11月6日	8,211	1.5	156.42	1.2	96.9	—		
第189期	(期 首) 2017年11月6日	8,196	—	156.42	—	96.9	—		
	11月末	8,010	△2.3	152.85	△2.3	96.8	—		
	(期 末) 2017年12月5日	8,025	△2.1	153.10	△2.1	96.5	—		
第190期	(期 首) 2017年12月5日	8,010	—	153.10	—	96.5	—		
	12月末	8,041	0.4	153.58	0.3	96.6	—		
	(期 末) 2018年1月5日	8,026	0.2	153.10	△0.0	96.6	—		
第191期	(期 首) 2018年1月5日	8,011	—	153.10	—	96.6	—		
	1月末	7,662	△4.4	146.21	△4.5	96.2	—		
	(期 末) 2018年2月5日	7,696	△3.9	147.11	△3.9	95.8	—		
第192期	(期 首) 2018年2月5日	7,681	—	147.11	—	95.8	—		
	2月末	7,479	△2.6	143.50	△2.5	96.5	—		
	(期 末) 2018年3月5日	7,379	△3.9	141.40	△3.9	96.7	—		

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

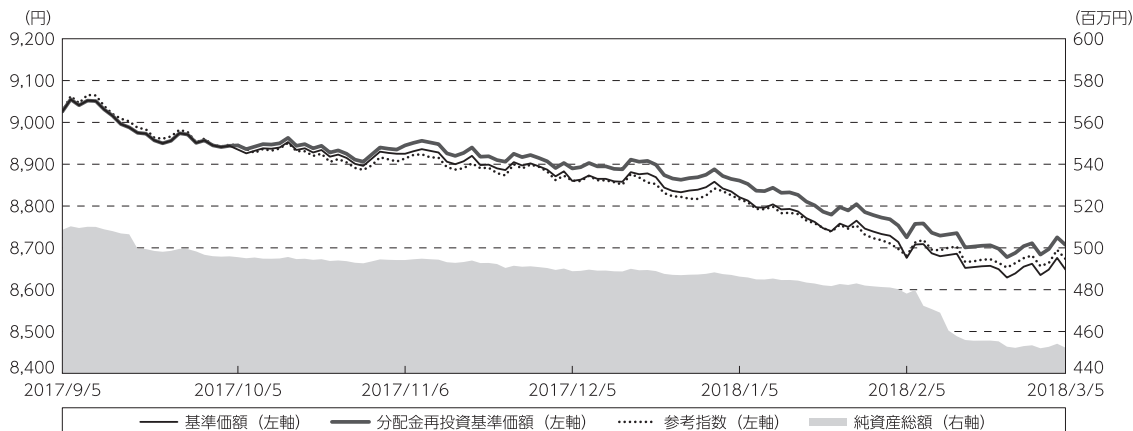
* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

* 債券組入比率の中には売付債券（TBA取引）の比率は含まれておりません。

<Cコース>

◎運用経過

○作成期間中の基準価額等の推移



第187期首：9,026円

第192期末：8,648円（既払分配金（税込み）：60円）

騰落率：△3.5%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2017年9月5日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、ICE・BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円ヘッジベース）です。参考指数は、作成期首（2017年9月5日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、当作成期首の9,026円から当作成期末には8,648円となりました。

- ・2018年1月に、2017年12月のコアCPI（消費者物価指数）伸び率が市場予想を上回るなど好調な経済指標が確認されたことや、税制改革によるインフレ期待から長期金利が上昇したことなどを背景にアセットバック証券が下落したこと
- ・2018年2月に、1月の米雇用統計が好調であったことを受け、FRB（米連邦準備制度理事会）による利上げが加速するとの観測が高まったことや、1月のFOMC（米連邦公開市場委員会）の議事要旨が利上げを強調する内容だったことから債券利回りは上昇（価格は下落）し、アセットバック証券が下落したこと

<Cコース>

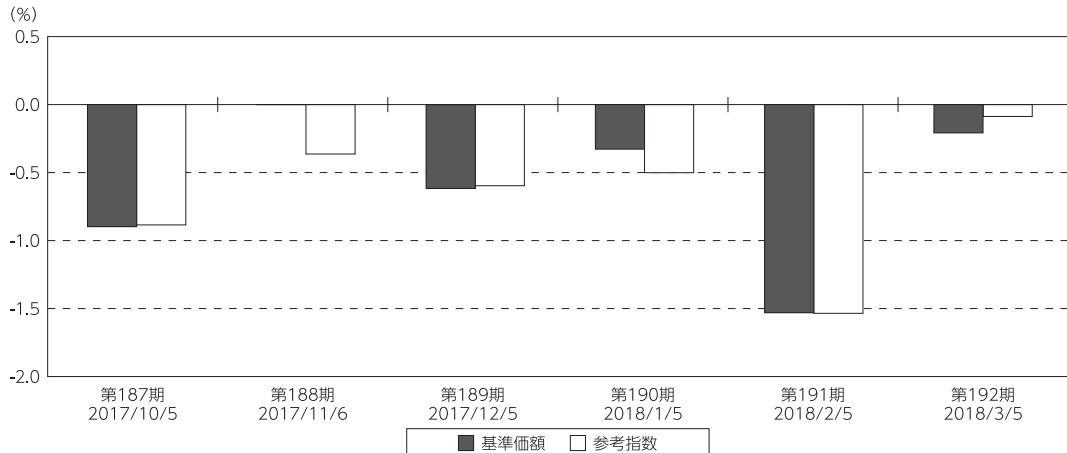
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているICE・BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円ヘッジベース）の-3.9%に対し、基準価額※は-3.5%となりました。主な差異の要因は、[アセットバック証券オープンマザーファンド]でアセットバック証券を参考指数より多めに保有したことなどでした。

※基準価額の騰落率は、分配金（税込み）を再投資して算出しております。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、ICE・BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円ヘッジベース）です。

<Cコース>

◎分配金

収益分配金については、各期の利子・配当収入、諸経費などを勘案して決定しました。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第187期	第188期	第189期	第190期	第191期	第192期
	2017年9月6日～ 2017年10月5日	2017年10月6日～ 2017年11月6日	2017年11月7日～ 2017年12月5日	2017年12月6日～ 2018年1月5日	2018年1月6日～ 2018年2月5日	2018年2月6日～ 2018年3月5日
当期分配金	10	10	10	10	10	10
(対基準価額比率)	0.112%	0.112%	0.113%	0.113%	0.115%	0.116%
当期の収益	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	3,586	3,594	3,599	3,604	3,610	3,616

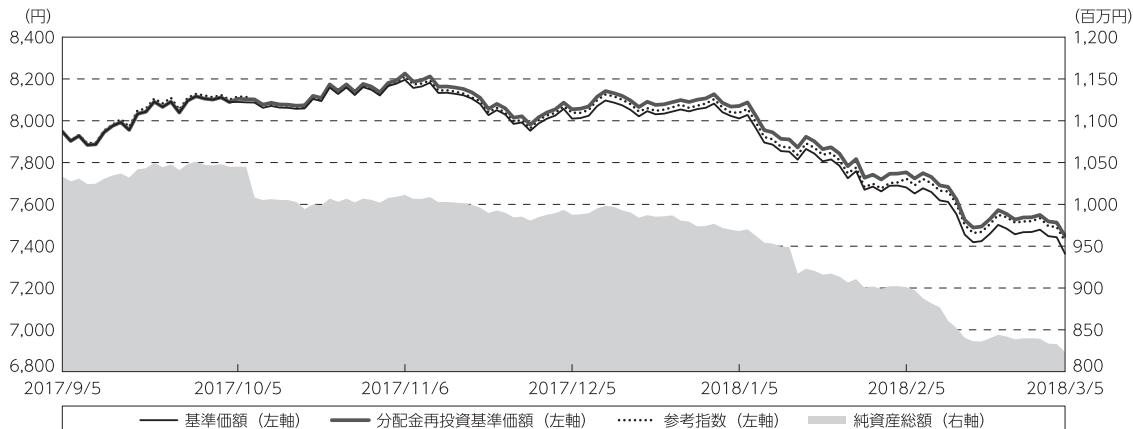
(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Dコース>

◎運用経過

○作成期間中の基準価額等の推移



第187期首：7,948円

第192期末：7,364円 (既払分配金(税込み)：90円)

騰落率：△6.3% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2017年9月5日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、ICE・BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス(円換算ベース)です。参考指数は、作成期首(2017年9月5日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、当作成期首の7,948円から当作成期末には7,364円となりました。

- ・2018年1月に、2017年12月のコアCPI(消費者物価指数)伸び率が市場予想を上回るなど好調な経済指標が確認されたことや、税制改革によるインフレ期待から長期金利が上昇したことなどを背景にアセットバック証券が下落したこと
- ・2018年2月に、1月の米雇用統計が好調であったことを受け、FRB(米連邦準備制度理事会)による利上げが加速するとの観測が高まったことや、1月のFOMC(米連邦公開市場委員会)の議事要旨が利上げを強調する内容だったことから債券利回りは上昇(価格は下落)し、アセットバック証券が下落したこと
- ・ドル/円の為替変動

<Dコース>

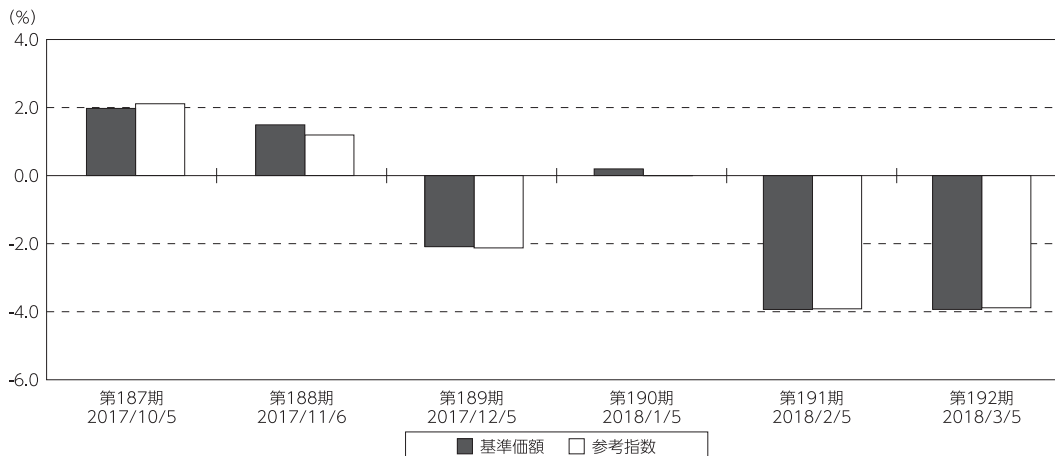
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているICE・BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円換算ベース）の-6.6%に対し、基準価額※は-6.3%となりました。主な差異の要因は、[アセットバック証券オープンマザーファンド]でアセットバック証券を参考指数より多めに保有したことなどでした。

※基準価額の騰落率は、分配金（税込み）を再投資して算出しております。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、ICE・BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円換算ベース）です。

<Dコース>

◎分配金

収益分配金については、各期の利子・配当収入、諸経費などを勘案して決定しました。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第187期	第188期	第189期	第190期	第191期	第192期
	2017年9月6日～ 2017年10月5日	2017年10月6日～ 2017年11月6日	2017年11月7日～ 2017年12月5日	2017年12月6日～ 2018年1月5日	2018年1月6日～ 2018年2月5日	2018年2月6日～ 2018年3月5日
当期分配金	15	15	15	15	15	15
(対基準価額比率)	0.185%	0.183%	0.187%	0.187%	0.195%	0.203%
当期の収益	15	15	13	13	14	12
当期の収益以外	—	—	1	1	0	2
翌期繰越分配対象額	1,198	1,206	1,204	1,204	1,204	1,203

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Cコース／Dコース>

○投資環境

米国債券市場は、当作成期間では、利回りは上昇（価格は下落）傾向で推移しました。米国の主要経済指標やFRBの動向、トランプ政権による税制改革の動向などに左右されました。

アセットバック証券市場は、当作成期間では、下落傾向で推移しました。米国の主要経済指標やFRBの動向などに左右されました。

為替市場は、当作成期間では、ドルに対して円高が進行しました。2017年9月にFOMCでの資産縮小開始の決定や、トランプ政権が税制改革案を発表し、米国経済の成長に対する期待感が高まったことなどを受けて、ドルは上昇しましたが、2018年1月以降、日銀が超長期国債の買い入れを減額したことを受けて、市場で金融政策の正常化が意識されたことや、2月の下旬、米国株式市場が急落したことなどからリスク回避の動きにより円が買われ、円高が進みました。当作成期間では、ドル安・円高となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

[アセットバック証券オープンCコース]

主要投資対象である〔アセットバック証券オープンマザーファンド〕受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを活用し、為替変動リスクを低減させました。

[アセットバック証券オープンDコース]

主要投資対象である〔アセットバック証券オープンマザーファンド〕受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを行いませんでした。

[アセットバック証券オープンマザーファンド]

- (1) 米国のアセットバック証券（MBS、CMBS、ABSなど）を主要投資対象とし、更に米国国債や政府機関債を加えた分散ポートフォリオを基本に運用を行います。
- (2) 市場の変動や各セクター間・銘柄間の相対価値の違いなどに応じて、上記債券セクターの比率変更、投資銘柄の選定、ファンドのデュレーションの調整などを行い、収益の拡大に努めます。

上記の運用方針のもと、当期間は以下のような運用を行いました。

- ・セクター配分は、MBSやCMBS等のアセットバック証券を中心とした投資を維持しました。
- ・ファンドの平均デュレーションは、市場変動に応じて調整しました。
- ・組入債券の信用格付けについては、保守的なスタンスを継続し、投資適格債中心のポートフォリオを維持しました。

<Cコース/Dコース>

◎今後の運用方針

[アセットバック証券オープンマザーファンド]

- (1) 米国のアセットバック証券（MBS、CMBS、ABSなど）を主要投資対象とし、更に米国国債や政府機関債を加えた分散ポートフォリオを基本に運用を行います。
- (2) 市場の変動や各セクター間・銘柄間の相対価値の違いなどに応じて、上記債券セクターの比率変更、投資銘柄の選定、ファンドのデュレーションの調整などを行い、収益の拡大に努めます。

[アセットバック証券オープンCコース]

主要投資対象である〔アセットバック証券オープンマザーファンド〕受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図る方針です。

[アセットバック証券オープンDコース]

主要投資対象である〔アセットバック証券オープンマザーファンド〕受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを行わない方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

<Cコース>

○1万口当たりの費用明細

(2017年9月6日～2018年3月5日)

項 目	第187期～第192期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 48	% 0.546	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(27)	(0.305)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(19)	(0.214)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(2)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	3	0.029	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.027)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	51	0.575	
作成期間の平均基準価額は、8,830円です。			

*作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年9月6日～2018年3月5日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第187期～第192期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アセットバック証券オープンマザーファンド	千口 9,696	千円 22,000	千口 24,772	千円 58,000

*単位未満は切り捨て。

<Cコース>

○利害関係人との取引状況等

(2017年9月6日～2018年3月5日)

利害関係人との取引状況

<アセットバック証券オープンCコース>

該当事項はございません。

<アセットバック証券オープンマザーファンド>

区 分	第187期～第192期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 -	百万円 -	% -	百万円 184	百万円 12	% 6.5

平均保有割合 33.8%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2018年3月5日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第186期末	第192期末	
	口 数	口 数	評 価 額
アセットバック証券オープンマザーファンド	千口 214,352	千口 199,276	千円 439,902

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

<Cコース>

○投資信託財産の構成

(2018年3月5日現在)

項 目	第192期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アセットバック証券オープンマザーファンド	439,902	97.0
コール・ローン等、その他	13,708	3.0
投資信託財産総額	453,610	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*アセットバック証券オープンマザーファンドにおいて、第192期末における外貨建て純資産（1,236,540千円）の投資信託財産総額（1,261,379千円）に対する比率は98.0%です。

*外貨建て資産は、第192期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=105.55円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第187期末	第188期末	第189期末	第190期末	第191期末	第192期末
	2017年10月5日現在	2017年11月6日現在	2017年12月5日現在	2018年1月5日現在	2018年2月5日現在	2018年3月5日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	991,280,626	985,796,940	966,694,237	956,916,060	931,719,251	882,696,242
コール・ローン等	4,963,620	5,022,971	4,808,354	4,598,584	4,900,062	4,482,893
アセットバック証券オープンマザーファンド(評価額)	505,456,588	504,688,603	490,624,945	481,879,812	468,697,004	439,902,743
未収入金	480,860,418	476,085,366	471,260,938	470,437,664	458,122,185	438,310,606
(B) 負債	495,729,262	491,616,243	477,862,783	470,655,286	453,600,811	430,429,903
未払金	494,718,530	490,584,150	476,879,385	469,646,360	452,596,540	429,085,360
未払収益分配金	554,607	553,719	551,749	551,262	551,085	522,945
未払解約金	—	—	—	—	—	432,500
未払信託報酬	455,236	477,440	430,803	456,781	452,305	388,343
未払利息	5	5	6	4	5	6
その他未払費用	884	929	840	879	876	749
(C) 純資産総額(A-B)	495,551,364	494,180,697	488,831,454	486,260,774	478,118,440	452,266,339
元本	554,607,285	553,719,193	551,749,193	551,262,563	551,085,111	522,945,111
次期繰越損益金	△ 59,055,921	△ 59,538,496	△ 62,917,739	△ 65,001,789	△ 72,966,671	△ 70,678,772
(D) 受益権総口数	554,607,285口	553,719,193口	551,749,193口	551,262,563口	551,085,111口	522,945,111口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,935円	8,925円	8,860円	8,821円	8,676円	8,648円

(注) 第187期首元本額は563,527,940円、第187～192期中追加設定元本額は617,171円、第187～192期中一部解約元本額は41,200,000円、1口当たり純資産額は、第187期0.8935円、第188期0.8925円、第189期0.8860円、第190期0.8821円、第191期0.8676円、第192期0.8648円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額1,814,541円。('17年4月25日～'17年10月24日、アセットバック証券オープンマザーファンド)

<Cコース>

○損益の状況

項 目	第187期	第188期	第189期	第190期	第191期	第192期
	2017年9月6日～ 2017年10月5日	2017年10月6日～ 2017年11月6日	2017年11月7日～ 2017年12月5日	2017年12月6日～ 2018年1月5日	2018年1月6日～ 2018年2月5日	2018年2月6日～ 2018年3月5日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 200	△ 147	△ 158	△ 163	△ 147	△ 142
支払利息	△ 200	△ 147	△ 158	△ 163	△ 147	△ 142
(B) 有価証券売買損益	△ 4,045,409	452,628	△ 2,612,444	△ 1,132,068	△ 6,981,786	△ 595,333
売買益	11,935,800	15,095,337	9,009,341	8,836,273	14,686,338	24,043,043
売買損	△ 15,981,209	△ 14,642,709	△ 11,621,785	△ 9,968,341	△ 21,668,124	△ 24,638,376
(C) 信託報酬等	△ 456,120	△ 478,369	△ 431,643	△ 457,660	△ 453,181	△ 389,092
(D) 当期繰越損益(A+B+C)	△ 4,501,729	△ 25,888	△ 3,044,245	△ 1,589,891	△ 7,435,114	△ 984,567
(E) 前期繰越損益	△ 56,433,925	△ 61,376,792	△ 61,727,628	△ 65,251,065	△ 67,367,276	△ 71,436,188
(F) 追加信託差損益	2,434,340	2,417,903	2,405,883	2,390,429	2,386,804	2,264,928
(配当等相当額)	(22,701,971)	(22,701,848)	(22,631,119)	(22,647,355)	(22,647,526)	(21,491,129)
(売買損益相当額)	(△ 20,267,631)	(△ 20,283,945)	(△ 20,225,236)	(△ 20,256,926)	(△ 20,260,722)	(△ 19,226,201)
(G) 計(D+E+F)	△ 58,501,314	△ 58,984,777	△ 62,365,990	△ 64,450,527	△ 72,415,586	△ 70,155,827
(H) 収益分配金	△ 456,607	△ 553,719	△ 551,749	△ 551,262	△ 551,085	△ 522,945
次期繰越損益(G+H)	△ 59,055,921	△ 59,538,496	△ 62,917,739	△ 65,001,789	△ 72,966,671	△ 70,678,772
追加信託差損益	2,434,340	2,417,903	2,405,883	2,390,429	2,386,804	2,264,928
(配当等相当額)	(22,702,649)	(22,702,370)	(22,631,188)	(22,647,616)	(22,647,581)	(21,491,129)
(売買損益相当額)	(△ 20,268,309)	(△ 20,284,467)	(△ 20,225,305)	(△ 20,257,187)	(△ 20,260,777)	(△ 19,226,201)
分配準備積立金	176,228,628	176,312,896	175,969,278	176,044,091	176,327,853	167,619,326
繰越損益	△237,718,889	△238,269,295	△241,292,900	△243,436,309	△251,681,328	△240,563,026

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2017年9月6日～2018年3月5日)は以下の通りです。

項 目	第187期	第188期	第189期	第190期	第191期	第192期
	2017年9月6日～ 2017年10月5日	2017年10月6日～ 2017年11月6日	2017年11月7日～ 2017年12月5日	2017年12月6日～ 2018年1月5日	2018年1月6日～ 2018年2月5日	2018年2月6日～ 2018年3月5日
a. 配当等収益(経費控除後)	800,450円	953,135円	839,929円	815,872円	898,223円	748,707円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	22,702,649円	22,702,370円	22,631,188円	22,647,616円	22,647,581円	21,491,129円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	175,982,785円	175,913,480円	175,681,098円	175,779,481円	175,980,715円	167,393,564円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	199,485,884円	199,568,985円	199,152,215円	199,242,969円	199,526,519円	189,633,400円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	3,596円	3,604円	3,609円	3,614円	3,620円	3,626円
g. 分配金	554,607円	553,719円	551,749円	551,262円	551,085円	522,945円
h. 分配金(1万口当たり)	10円	10円	10円	10円	10円	10円

<Cコース>

○分配金のお知らせ

	第187期	第188期	第189期	第190期	第191期	第192期
1万口当たり分配金（税込み）	10円	10円	10円	10円	10円	10円

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

<Dコース>

○1万口当たりの費用明細

(2017年9月6日～2018年3月5日)

項 目	第187期～第192期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 43	% 0.546	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(24)	(0.305)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(17)	(0.214)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(2)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	2	0.028	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.027)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	45	0.574	
作成期間の平均基準価額は、7,903円です。			

*作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年9月6日～2018年3月5日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第187期～第192期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アセットバック証券オープンマザーファンド	千口 —	千円 —	千口 66,712	千円 156,500

*単位未満は切り捨て。

<Dコース>

○利害関係人との取引状況等

(2017年9月6日～2018年3月5日)

利害関係人との取引状況

<アセットバック証券オープンDコース>

該当事項はございません。

<アセットバック証券オープンマザーファンド>

区 分	第187期～第192期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 -	百万円 -	% -	百万円 184	百万円 12	% 6.5

平均保有割合 66.2%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2018年3月5日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第186期末	第192期末	
	口 数	口 数	評 価 額
アセットバック証券オープンマザーファンド	千口 436,309	千口 369,597	千円 815,885

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

<Dコース>

○投資信託財産の構成

(2018年3月5日現在)

項 目	第192期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アセットバック証券オープンマザーファンド	815,885	98.4
コール・ローン等、その他	12,998	1.6
投資信託財産総額	828,883	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*アセットバック証券オープンマザーファンドにおいて、第192期末における外貨建て純資産（1,236,540千円）の投資信託財産総額（1,261,379千円）に対する比率は98.0%です。

*外貨建て資産は、第192期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=105.55円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第187期末	第188期末	第189期末	第190期末	第191期末	第192期末
	2017年10月5日現在	2017年11月6日現在	2017年12月5日現在	2018年1月5日現在	2018年2月5日現在	2018年3月5日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,048,122,735	1,014,212,239	990,447,787	970,867,408	903,760,921	828,883,409
コール・ローン等	10,425,708	10,009,514	9,264,743	9,670,120	8,736,725	8,297,816
アセットバック証券オープンマザーファンド(評価額)	1,034,797,027	1,001,402,725	977,883,044	958,397,288	892,224,196	815,885,593
未収入金	2,900,000	2,800,000	3,300,000	2,800,000	2,800,000	4,700,000
(B) 負債	2,960,613	2,829,230	2,722,088	2,734,361	2,745,884	5,497,141
未払収益分配金	1,937,788	1,850,931	1,849,616	1,812,855	1,759,544	1,677,090
未払解約金	80,650	—	—	—	115,005	3,098,296
未払信託報酬	940,331	976,384	870,762	919,703	869,627	720,343
未払利息	11	11	12	9	10	11
その他未払費用	1,833	1,904	1,698	1,794	1,698	1,401
(C) 純資産総額(A-B)	1,045,162,122	1,011,383,009	987,725,699	968,133,047	901,015,037	823,386,268
元本	1,291,859,119	1,233,954,638	1,233,077,967	1,208,570,299	1,173,029,967	1,118,060,005
次期繰越損益金	△ 246,696,997	△ 222,571,629	△ 245,352,268	△ 240,437,252	△ 272,014,930	△ 294,673,737
(D) 受益権総口数	1,291,859,119口	1,233,954,638口	1,233,077,967口	1,208,570,299口	1,173,029,967口	1,118,060,005口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,090円	8,196円	8,010円	8,011円	7,681円	7,364円

(注) 第187期首元本額は1,300,105,565円、第187～192期中追加設定元本額は1,054,584円、第187～192期中一部解約元本額は183,100,144円、1口当たり純資産額は、第187期0.8090円、第188期0.8196円、第189期0.8010円、第190期0.8011円、第191期0.7681円、第192期0.7364円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額1,814,541円。('17年4月25日～'17年10月24日、アセットバック証券オープンマザーファンド)

<Dコース>

○損益の状況

項 目	第187期	第188期	第189期	第190期	第191期	第192期
	2017年9月6日～ 2017年10月5日	2017年10月6日～ 2017年11月6日	2017年11月7日～ 2017年12月5日	2017年12月6日～ 2018年1月5日	2018年1月6日～ 2018年2月5日	2018年2月6日～ 2018年3月5日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 417	△ 308	△ 314	△ 354	△ 285	△ 273
支払利息	△ 417	△ 308	△ 314	△ 354	△ 285	△ 273
(B) 有価証券売買損益	21,303,511	15,759,645	△ 20,215,634	2,717,223	△ 36,094,151	△ 33,122,558
売買益	21,383,705	15,805,844	4,022	2,814,244	568,991	406,339
売買損	△ 80,194	△ 46,199	△ 20,219,656	△ 97,021	△ 36,663,142	△ 33,528,897
(C) 信託報酬等	△ 942,164	△ 978,288	△ 872,460	△ 921,497	△ 871,325	△ 821,744
(D) 当期繰損益金(A+B+C)	20,360,930	14,781,049	△ 21,088,408	1,795,372	△ 36,965,761	△ 33,844,575
(E) 前期繰越損益金	△176,262,296	△150,594,794	△137,547,294	△157,238,008	△152,516,790	△182,123,371
(F) 追加信託差損益金	△ 88,857,843	△ 84,906,953	△ 84,866,950	△ 83,181,761	△ 80,772,835	△ 77,028,701
(配当等相当額)	(21,472,624)	(20,536,864)	(20,538,807)	(20,132,132)	(19,565,723)	(18,673,079)
(売買損益相当額)	(△110,330,467)	(△105,443,817)	(△105,405,757)	(△103,313,893)	(△100,338,558)	(△ 95,701,780)
(G) 計(D+E+F)	△244,759,209	△220,720,698	△243,502,652	△238,624,397	△270,255,386	△292,996,647
(H) 収益分配金	△ 1,937,788	△ 1,850,931	△ 1,849,616	△ 1,812,855	△ 1,759,544	△ 1,677,090
次期繰越損益金(G+H)	△246,696,997	△222,571,629	△245,352,268	△240,437,252	△272,014,930	△294,673,737
追加信託差損益金	△ 88,857,843	△ 84,906,953	△ 84,866,950	△ 83,181,761	△ 80,772,835	△ 77,028,701
(配当等相当額)	(21,472,929)	(20,537,452)	(20,539,097)	(20,132,183)	(19,566,280)	(18,673,514)
(売買損益相当額)	(△110,330,772)	(△105,444,405)	(△105,406,047)	(△103,313,944)	(△100,339,115)	(△ 95,702,215)
分配準備積立金	133,378,731	128,328,204	128,039,284	125,410,900	121,765,984	115,874,476
繰越損益金	△291,217,885	△265,992,880	△288,524,602	△282,666,391	△313,008,079	△333,519,512

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2017年9月6日～2018年3月5日)は以下の通りです。

項 目	第187期	第188期	第189期	第190期	第191期	第192期
	2017年9月6日～ 2017年10月5日	2017年10月6日～ 2017年11月6日	2017年11月7日～ 2017年12月5日	2017年12月6日～ 2018年1月5日	2018年1月6日～ 2018年2月5日	2018年2月6日～ 2018年3月5日
a. 配当等収益(経費控除後)	2,457,260円	2,666,779円	1,665,341円	1,674,471円	1,745,880円	1,395,771円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	21,472,929円	20,537,452円	20,539,097円	20,132,183円	19,566,280円	18,673,514円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	132,859,259円	127,512,356円	128,223,559円	125,549,284円	121,779,648円	116,155,795円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	156,789,448円	150,716,587円	150,427,997円	147,355,938円	143,091,808円	136,225,080円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	1,213円	1,221円	1,219円	1,219円	1,219円	1,218円
g. 分配金	1,937,788円	1,850,931円	1,849,616円	1,812,855円	1,759,544円	1,677,090円
h. 分配金(1万口当たり)	15円	15円	15円	15円	15円	15円

<Dコース>

○分配金のお知らせ

	第187期	第188期	第189期	第190期	第191期	第192期
1万口当たり分配金（税込み）	15円	15円	15円	15円	15円	15円

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

○ (参考情報) 親投資信託の組入資産の明細

(2018年3月5日現在)

<アセットバック証券オープンマザーファンド>

下記は、アセットバック証券オープンマザーファンド全体(568,873千口)の内容です。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第192期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	85,197	11,612	1,225,728	97.6	0.0	80.8	16.7	0.1
合 計	85,197	11,612	1,225,728	97.6	0.0	80.8	16.7	0.1

* 邦貨換算金額は、第192期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 組入比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

* S&Pグローバル・レーティング、ムーディーズ・インベスターズ・サービス、フィッチ・レーティングスによる格付けを採用していません。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	第192期末						償還年月日
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日		
			外貨建金額	邦貨換算金額			
アメリカ	%	千米ドル	千米ドル	千円			
国債証券	US TREASURY N/B	2.25	200	189	19,996	2027/11/15	
特殊債券 (除く金融債)	FHLMC MULTIFAMILY STRUCT	2.716	2,000	1,989	210,014	2022/6/25	
	FHLMC MULTIFAMILY STRUCT	3.002	1,490	1,489	157,195	2024/1/25	
	FHLMC MULTIFAMILY STRUCT	2.768	171	170	18,035	2024/4/25	
	FHLMC MULTIFAMILY STRUCT	3.243	510	509	53,755	2027/4/25	
	FHMS K033 A2	3.06	4,272	4,291	452,988	2023/7/25	
	FN AS1317	4.0	794	818	86,378	2043/12/1	
	GNMA 30YR 589197	6.5	16	18	1,956	2032/8/15	
	GNMA 364408	6.5	3	4	450	2023/11/15	
	SBAP 1998-20F 1	6.3	9	9	969	2018/6/1	
普通社債券 (含む投資法人債券)	BSARM 04-7 4A	3.799577	4	4	434	2034/10/25	
	JP MORGAN CHAS CMMRCI IO	0.0648	73,835	228	24,094	2046/12/15	
	JP MORGAN CHASE COMMERC	3.5074	438	444	46,939	2045/5/15	
	JPMCC 2002-CIB4 C	6.45	15	15	1,591	2034/5/12	
	JPMCC 2010-C2 A3	4.0698	392	401	42,382	2043/11/15	
	MORGAN STANLEY BAML TRUS	4.73716	45	46	4,944	2046/11/15	
	WORLD FINANCIAL NETWORK	2.55	500	497	52,468	2024/6/17	
	WORLD FINANCIAL NETWORK	2.03	500	484	51,130	2025/4/15	
合 計					1,225,728		

* 邦貨換算金額は、第192期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

アセットバック証券オープン マザーファンド

運用報告書

第20期（決算日2017年4月24日）

作成対象期間（2016年4月26日～2017年4月24日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として米国ドル建てのアセットバック証券に分散投資し、高収益の獲得およびリスクの分散を図ることを目指します。運用にあたっては、アセットバック証券の独特なリターン特性やリスク特性の分析に基づき、主要な3つのセクター（MBS (Mortgage Backed Securities)、CMBS (Commercial Mortgage Backed Securities)、ABS (Asset Backed Securities)) への資産配分、個別投資銘柄選定、デュレーションマネージメントを行い、アクティブに運用することを基本とします。
主な投資対象	米国ドル建てのMBS、CMBS、ABSなどの証券、およびこれらを担保として発行される証券を主要投資対象とします。なお、一部米国国債、米国政府機関の発行した債券および米国ドル建て以外のアセットバック証券に投資する場合があります。
主な投資制限	株式への投資は転換社債を転換したもの等に限る、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の10%未満とします。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		債組入比率	債券先物比率	純資産額
	騰落	中率	騰落	中率			
	円	%		%	%	%	百万円
16期(2013年4月24日)	19,249	29.8	197.62	25.5	98.0	—	2,631
17期(2014年4月24日)	19,700	2.3	199.17	0.8	99.3	—	2,187
18期(2015年4月24日)	24,257	23.1	241.45	21.2	98.3	—	2,164
19期(2016年4月25日)	23,247	△4.2	229.29	△5.0	95.7	—	1,853
20期(2017年4月24日)	23,148	△0.4	225.33	△1.7	97.2	—	1,618

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*債券組入比率の中には売付債券(TBA取引)の比率は含まれておりません。

*参考指数(=BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス(円換算ベース))は、BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス(現地通貨ベース)をもとに、当社において円換算したものです。なお、指数算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の米ドル為替レート(対顧客電信売買相場仲値)で円換算しております。
(出所、許可) バンクオブアメリカ・メリルリンチ、(出所) ブルームバーグ

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		債組入比率	債券先物比率
	騰落	率	騰落	率		
(期首)	円	%		%	%	%
2016年4月25日	23,247	—	229.29	—	95.7	—
4月末	22,937	△1.3	226.19	△1.4	97.4	—
5月末	23,211	△0.2	228.58	△0.3	97.4	—
6月末	21,928	△5.7	215.81	△5.9	96.1	—
7月末	22,228	△4.4	218.52	△4.7	96.6	—
8月末	21,973	△5.5	215.13	△6.2	96.5	—
9月末	21,638	△6.9	211.79	△7.6	95.4	—
10月末	22,244	△4.3	217.57	△5.1	97.2	—
11月末	23,442	0.8	228.20	△0.5	97.6	—
12月末	24,106	3.7	235.06	2.5	97.0	—
2017年1月末	23,646	1.7	230.33	0.5	97.0	—
2月末	23,481	1.0	228.76	△0.2	97.5	—
3月末	23,392	0.6	227.47	△0.8	97.6	—
(期末)						
2017年4月24日	23,148	△0.4	225.33	△1.7	97.2	—

*騰落率は期首比です。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*債券組入比率の中には売付債券(TBA取引)の比率は含まれておりません。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



(注) 参考指数は、BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス(円換算ベース)です。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首の23,247円から期末の23,148円になりました。

- ・ 2016年9月に、FOMC(米連邦公開市場委員会)において利上げが見送られたことなどを受けて、アセットバック証券市場が上昇したこと
- ・ 2016年11月に、共和党候補のトランプ氏が米国大統領選挙で当選したことを受けて、同氏の拡張的な財政政策による景気加速や、それに伴うインフレ率上昇への警戒感が高まったことなどを背景に、アセットバック証券市場が下落したこと
- ・ 2016年12月に、FOMCで利上げが決定され、2017年以降の利上げペースの加速が意識されたことなどから、アセットバック証券市場が下落したこと
- ・ 2017年3月中旬以降、FOMCにおいて政策金利が引き上げられたものの、今後の利上げ見通しが据え置かれたことを背景に、アセットバック証券市場が上昇したこと
- ・ 期を通して、保有したアセットバック証券などからのインカムゲイン(利息・配当収入)を得たこと
- ・ ドル/円の為替変動

○当ファンドのポートフォリオ

- (1) 米国のアセットバック証券（MBS、CMBS、ABSなど）を主要投資対象とし、更に米国国債や政府機関債を加えた分散ポートフォリオを基本に運用を行います。
- (2) 市場の変動や各セクター間・銘柄間の相対価値の違いなどに応じて、上記債券セクターの比率変更、投資銘柄の選定、ファンドのデュレーションの調整などを行い、収益の拡大に努めます。

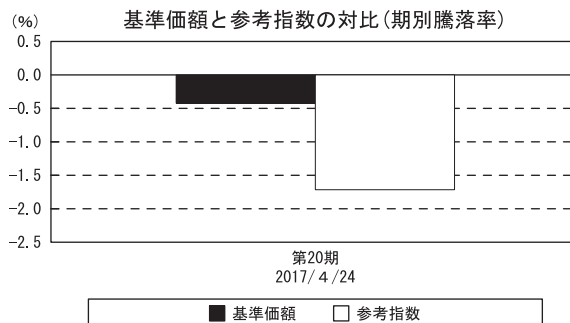
上記の運用方針のもと、当期間は以下のような運用を行いました。

- ・セクター配分は、MBSやCMBS等のアセットバック証券を中心とした投資を維持しました。
- ・ファンドの平均デュレーションは、市場変動に応じて調整しました。
- ・組入債券の信用格付けについては、保守的なスタンスを継続し、投資適格債中心のポートフォリオを維持しました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているBofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円換算ベース）が-1.7%となったのに対し、基準価額は-0.4%となりました。主な差異の要因としては、高位に組み入れたアセットバック証券の価格が上昇したことなどでした。



(注) 参考指数は、BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円換算ベース）です。

○今後の運用方針

引き続き、アセットバック証券を中心に国債・政府機関債を加えたポートフォリオを基本とした運用を行う予定です。デュレーションについては市場の変動に応じて調整していく方針です。

投資するアセットバック証券各セクターの運用方針は以下の通りです。

- ①MBSは、当面は現状程度の組入比率を維持しながら、スプレッドの変化に応じて組入比率を調整していく予定です。
- ②CMBSは、同程度の格付けを持つ国債や社債と比べ、高い利回りを有しています。ファンドにおいては現状程度の組入比率を維持しながら、高水準のインカムを享受していく方針です。
- ③ABSは、クレジット環境を注視しながら、短期部分で機動的に組入れる可能性があります。

○1万口当たりの費用明細

(2016年4月26日～2017年4月24日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 10	% 0.042	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(9)	(0.041)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.001)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	10	0.042	
期中の平均基準価額は、22,852円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年4月26日～2017年4月24日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	国債証券	千米ドル 4,954	千米ドル 4,947
		特殊債券	1,534	2,314 (273)
		社債券（投資法人債券を含む）	499	524 (207)

*金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

*単位未満は切り捨て。

*（ ）内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

*社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2016年4月26日～2017年4月24日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2017年4月24日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	87,441	14,301	1,572,628	97.2	0.1	86.9	10.1	0.2
合 計	87,441	14,301	1,572,628	97.2	0.1	86.9	10.1	0.2

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

* スタンダード・アンド・プアーズ、ムーディーズ・インベスターズ・サービス、フィッチ・レーティングスによる格付けを採用しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		当 期 末					償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
		%	千米ドル	千米ドル	千円		
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	2.25	525	525	57,805	2027/2/15
	特殊債券 (除く金融債)	FHLMC MULTIFAMILY STRUCT	3.13	700	729	80,207	2021/6/25
		FHLMC MULTIFAMILY STRUCT	2.716	2,000	2,049	225,396	2022/6/25
		FHLMC MULTIFAMILY STRUCT	3.002	1,490	1,534	168,749	2024/1/25
		FHLMC MULTIFAMILY STRUCT	2.768	453	463	50,994	2024/4/25
		FHMS K033 A2	3.06	4,272	4,438	488,038	2023/7/25
		FHMS K503 A2	2.456	750	761	83,689	2019/8/25
		FN AS1317	4.0	902	957	105,253	2043/12/1
		GNMA 30YR 589197	6.5	17	19	2,121	2032/8/15
		GNMA 364408	6.5	4	4	533	2023/11/15
		SBAP 1998-20F 1	6.3	26	27	3,003	2018/6/1
	SBAP 97-20E	7.3	0.97279	0.97451	107	2017/5/1	
	普通社債券 (含む投資法人債券)	BSARM 04-7 4A	3.35717	17	17	1,955	2034/10/25
		COMM MORTGAGE TRUST	2.801	500	509	55,984	2047/11/10
		JP MORGAN CHAS CMMRCI IO	0.0648	73,835	265	29,163	2046/12/15
		JP MORGAN CHASE COMMERC	3.5074	457	478	52,661	2045/5/15
		JPMCC 2002-CIB4 C	6.45	44	44	4,900	2034/5/12
		JPMCC 2010-C2 A3	4.0698	400	421	46,362	2043/11/15
		MORGAN STANLEY BAML TRUS	4.90153	45	48	5,364	2046/11/15
		WORLD FINANCIAL NETWORK	2.55	500	508	55,888	2024/6/17
	WORLD FINANCIAL NETWORK	2.03	500	495	54,446	2025/4/15	
合 計						1,572,628	

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

○投資信託財産の構成

(2017年4月24日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	1,572,628	87.9
コール・ローン等、その他	216,247	12.1
投資信託財産総額	1,788,875	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建て純資産（1,590,285千円）の投資信託財産総額（1,788,875千円）に対する比率は88.9%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=109.96円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年4月24日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,788,875,906
コール・ローン等	208,464,412
公社債(評価額)	1,572,628,920
未収入金	2,096,780
未収利息	5,628,384
前払費用	57,410
(B) 負債	170,649,272
未払金	168,749,222
未払解約金	1,900,000
未払利息	50
(C) 純資産総額(A-B)	1,618,226,634
元本	699,064,301
次期繰越損益金	919,162,333
(D) 受益権総口数	699,064,301口
1万口当たり基準価額(C/D)	23,148円

(注) 期首元本額は797,167,821円、期中追加設定元本額は27,319,727円、期中一部解約元本額は125,423,247円、1口当たり純資産額は2,3148円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
 ・アセットバック証券オープンDコース 470,866,499円
 ・アセットバック証券オープンCコース 228,197,802円

○損益の状況 (2016年4月26日～2017年4月24日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	51,360,378
受取利息	51,207,185
その他収益金	168,943
支払利息	△ 15,750
(B) 有価証券売買損益	△ 59,692,114
売買益	7,955,027
売買損	△ 67,647,141
(C) 保管費用等	△ 719,208
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 9,050,944
(E) 前期繰越損益金	1,056,009,757
(F) 追加信託差損益金	34,480,273
(G) 解約差損益金	△ 162,276,753
(H) 計(D+E+F+G)	919,162,333
次期繰越損益金(H)	919,162,333

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

- ①スワップ取引に係る評価の方法につき、法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って評価する汎用的な記載に変更する所要の約款変更を行いました。
＜変更適用日：2017年3月31日＞

- ②外国為替予約取引に係る担保授受に関する規定を追加する所要の約款変更を行いました。
＜変更適用日：2017年3月31日＞

- ③金利先渡し取引および為替先渡し取引に係る評価の方法につき、法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って評価する汎用的な記載に変更する所要の約款変更を行いました。
＜変更適用日：2017年3月31日＞